



同窓会報 興学

発行所
山形県西置賜郡
小国町大字岩井沢
621番地
小国高等学校内
電話(62)2054
小国高等学校同窓会
事務局

Ski Class at ZAO Oguni Senior High School

小国高等学校を 町発展の礎に

昭和三十一年度卒(第八回)
同窓会長

佐藤 祐一



小国町は県南に位置し、南に飯豊山(二、一〇五m)北に朝日岳(二、八七〇m)を有し、荒川の本流・支流の山あいに集落が点在する、自然の恵みそのものに生かされてきた町です。

新潟県・福島県とは、県境で接し、面積(七三七・五五km²)、農用地(一、三九六ha)、林地(七〇一、〇〇五ha)、日本で一番ブナの多い町です。人口は九、四八一人(平成20年1月31日現在)。

朝日山地を源流とする荒川は、総延長73kmで玉川・横川等の支流を擁し、日本海に注ぐ日本一の清流です。昭和11年に鉄道が開設されるまでは十三峠の越後街道が唯一の街道で、他には

塩の道ぐらいたったようです。鉄道開通により小国電興が誕生し、近代化の仲間入りが出来たと思われまふ。

電興も東芝セラミックス(株)と日本重化学工場(株)に分かれ、本町はもとより近隣市町村の就労の場として大きな貢献を果たし、昨年から東セラはコバレントマテリアル(株)になり操業しております。

昭和23年4月1日、教育の機会均等。小国郷に中等教育の場を強く求めた先人達の願望と努力によって山形県立小国高等学校が開校され、60年間の時を刻み今年度で五、九一〇名の卒業生を町内外に送り出し、町内はもとよりグローバル化した日本国をしっかりと支えられ、正に本町と日本国の礎となつておられます。

母校も、今年度は存続の危機にさらされました。しかし、全町民が丸となり存続運動に取り組み、また教職員が献身的なご指導が生徒諸君の成績向上につながり、県教委から当面現状継続が示されました。同窓会も「高校存続が町発展の礎」を合言葉に頑張りましょう。

小国高等学校存続期成同盟会 小国町民大会

期成同盟会会長 金 熊 太 郎

本同盟会は、小国高校が地域の高校として将来にわたり存続し、町内の生徒すべてが高校教育を等しく受けられる環境づくりを目的として、昨年の五月に設立された組織です。

現在、小国高校は、少子化等により入学者が募集定員を大きく下回っており、高校存続が危ぶまれている状況にあります。本同盟会では『小国高校存続は町民の手で』をスローガンに高校存続に向けた活動に取り組んでおります。その一環として昨年の五月には町民大会を開催しており、約五百人の参加をいただいております。



基調講演では日本大学大学院の坂田壽衛教授により少子高齢化における教育と題して講演をいただきました。また、大会では小国高校の活動報告

がなされたほか、町民による意見発表では、昨年度卒業生の船山博道さんと町PTA連絡協議会会長の高橋義彦さんより高校の果たす役割と存続への思いについて訴えていただきました。更には町民を代表して沖庭小学校PTA会長の伊藤弘行さんによる決意表明が行なわれました。

また、高校存続のための署名活動(四、三二一名)、山形県知事・県教育委員会教育長への要望書・署名名簿の提出、町内商店街を中心とした『のぼり旗』の設置などにも取り組んでまいりました。おかげさまで、山形県より高い評価を得ることとなり、『入学定員八十名(二学級)』を維持することができました。あらためて、本運動に当たり物心両面からご支援いただきました貴同窓会の皆さんをはじめ多くの方々に対しまして、心より感謝申し上げます。

今後、小国高校が小中高一貫教育の最高学府としての役割を担い、地域に根ざした魅力ある高校の実現に向け活動を展開してまいりますので、なお、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

県教委高等学校再編整備計画 小国高等学校現状維持報告



入学定員

現状維持に感謝

校長

竹 田 眞知子

同窓会の皆様には、本校教育に格段のご協力を賜っておりますこと心より感謝申し上げます。

さて、平成二十年度の入学定員は、県の「県立高校教育改革実施計画」の(学校の統廃合に関する基本方針)で『入学者が定員の三分の二に満たない年度が二回になった場合、その翌年に入学定員を一学級に減ずるとして、教育を「学科等の特殊性」と認め、貴校の次年度の入学定員の一学級減は行わないこととする。』となりました。

二学級八十名の現状維持になりましたことを報告させていただきます。

これも、皆様にこの四月から言葉では言い尽くせないほどの物心両面にわたる多大なご支援をいただいたお陰と衷心より御礼を申し上げます。

しかし、ただし書きがありまして「入学者が四十名程度で三年連続した場合は、その翌年から入学定員を一学級分に減ずる。」と厳しい条件がついております。安閑としていられない状況にあることに変わりはありません。

今後でもできるだけ多くの中学生に受験してもらえよう中学校訪問や本校紹介・PR活動に全職員一丸となつて力を入れて取り組んでまいります。

今後とも、同窓会の皆様にはなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校の今時

本校が推進している「小中高一貫教育」が七年目を迎えました。「国際」「情報」を大きな柱として今年度も多様な教育活動に取り組んできました。

生徒たちの目覚ましい活躍の様子を紹介いたします。

◆国際理解教育に関して

英語力を高め国際理解を推進する体験活動として、十一月に、一学年は福島「ブリティッシュヒルズ」での英会話研修、二学年はアメリカロサンゼルスへの海外修学旅行を実施しました。

また、海外短期留学には、九月（コロラド州ミッチェル高校）に、三年・塚原瑞貴を派遣しました。

来る三月（ロサンゼルス・ベニス高校）に、二年・鈴木大介、小関奈穂の派遣を予定しています。

◆高校と大学の連携

三年目を迎える「地域文化学」（一学年）は六大学・八名



地域文化学で大学教授の講義

の先生からご指導いただき、地域に関する調査研究を行いました。十一月には研究発表会を開催し、「雪氷の冷熱利用」に取り組んだ班が二月に行われる県高等学校地域学習サポーター事業合同発表会に本校代表として参加します。

山形大学工学部との連携による研究活動体験には、二年生四名（飯澤智宏、伊藤達也、鈴木大介、見川 祥）が参加し、夏休みの五日間に各研究室で実験等の指導を受けました。

◆情報教育と資格検定

情報を中心とした資格試験や検定試験に積極的に挑



ベニスハイスクールの皆さん

戦し、優秀な成績を収めています。中でも、ワープロ実務検定（七月）における一年生（佐野友莉那）の一級合格は、この時期としては県内初の快挙として新聞で大きく報道されました。今年度は一級に合計四名の合格者を出すことができました。

また情報処理検定（一月）では難関の二級に五名が合格するなど年々向上し、過去最高の成果を挙げました。（合格者名はP12に掲載）

ワープロ実務検定二級には十七名、三級に三十九名、情報処理検定三級には三十七名の合格という結果でした。他の検定試験では、漢字検定準二級五名、三級二十一名、簿記検定三級二名の

合格者でした。

◆町民報告会の開催

本校の活動の様子を町民の方々に紹介する機会として十一月二十二日に実施。あいにくの吹雪にもかかわらず多くの町民の方々にご参集いただきました。

二十二名の生徒による短期留学・情報教育・地域文化学・山大工学部研究活動の体験発表に加えて、小国盆唄の演奏も披露し、大喝采を浴びました。

他にもいろいろな場面で生徒の頑張りが見られました。一年でした。

●善行賞

足を怪我した学友のため



ワープロ検定1級合格

に数ヶ月に渡り通学時の世話をした行為が評価され、小国地区少年補導委員連絡会（多勢信人会長）より表彰を受けました。

（二年・井上亜弥、伊藤友美、今 那月、舟山亜希）

●青少年読書感想文全国コンクール・県佳作

二年・小関奈穂の入選は本校十二年ぶりの快挙です。

●チャレンジシヨップ

町、商工会ほかの支援指導を受けてアスモ内に軽食喫茶を限定二日間オープン。町民からは大好評でした。

（二年・伊藤大地、今 竜也）

●森の聞き書き甲子園

全国から選ばれた高校生が森林に関わる分野で活躍する名手・名人を取材し記録する活動です。本校から二年・見川祥が県推薦で参加、レポート作成を終え三月のフォーラムで発表します。

同窓会から、短期留学費用の助成をはじめとして本校に対して物心にわたるご支援をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

アメリカ短期留学生報告

ベニスハイスクール

自分を変えるきっかけに

三年二組 伊藤 緩生



私は、ロサンゼルスにあるベニス高校へ二週間の短期留学をしました。

短期留学に行く前は、不安はなかったのですが、実際行ってみると困難の連続でした。ホストシスターは日本語をほとんど話すことができず、ホストファミリーは主にスペイン語を話していました。初めは、自分の気持ちを上手く表現できず英語力のなさを痛感しました。しかし、単語やジェスチャーなどで表現し積極的にコミュニケーションを

とるよう頑張りました。一週間が経過した頃には英語にも慣れて、何を言っているのか聞き取れるようになりました。

ベニス高校へ通って驚いたことは、生徒がお菓子を食べながら授業を受けていたことです。日本の学校ではまずあり得ないことです。しかし、ベニス高校の生徒はお菓子を食べながらも先生に積極的に質問をしてい



ました。それに比べ日本は礼儀などには厳しいですが、そのような積極的な姿勢はあまり見られません。アメリカは自主性を重んじているのだなと改めて実感しました。

今回の短期留学は初めての経験の連続で、困惑する部分もあったのですが、貴重で素敵な時間でした。また、進路を変える大きなきっかけにもなりました。これからもっと英語を学び、英語力を向上させたいです。今回短期留学にご支援いただきました皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

文化の違いを実感

三年二組 貝沼 涼



私は去年の春休み、一度修学旅行で行ったアメリカ



と一緒にカルタなどをしました。思っていた以上に日本の事に興味を持っていた人たちがいて驚きました。

私は、ホームステイをしながらリンデンの通っているベニスハイスクールに通いました。修学旅行の時にもベニスハイスクールの生徒との交流があり、その時友達になった人たちがたくさんいて、すぐ仲良くなることができました。みんなとても親切な人たちばかりで、一緒にランチタイムを過したり、休みの日には遊びに連れて行ってくれました。時々伝わらない英語やわからない英語がありました。簡単な英語を使ってくれたり絵やジェスチャーをして伝えてくれました。とても嬉しかったです。

短期留学を通して、文化や習慣の違いを肌で感じる事ができました。それと同時に、自分の英語力のなさを実感できました。これからもっとたくさん勉強して、またアメリカに行きたいです。

ミッチェルハイスクール

ミッチェル

ハイスクールを体験して

三年二組 塚原 瑞貴



学校、町や県からの援助により、無事に念願だったアメリカへ行くことが出来ました。

毎回二人ずつの派遣に対し、ミッチェル高校への派遣は私一人でした。二年次に修学旅行でロサンゼルスへ行ったとはいえ、今回は全く違うシアトル空港。更にシアトルから国内線の飛行機に乗り換え、ホストファミリーが待っているデンバー空港へ、頼る人がいずすべて英語の中、不安を抱えながらの一人旅でした。

ミッチェル高校へ登校した一日目、担当のセイラー先生と共に授業をしました。日本語のクラスで、先生役をしてくれと言われたので、自分の家からコラドまで

何でどう来たかや、簡単な日本語を教えてきました。三日目くらいから段々と慣れてきて、英語を聞きとる力も徐々についてきました。私一人で来たということでは日本語を話す友達もいません。最初はとても不安でしたが、後になって考えてみたら、どうしても英語を話さなければいけない環境に置かれたら、英語を意欲的に聞く気になり自然と力がついたと思います。

カゼをひいたり標高が高いため高山病になったりしたのですが、ホストファミリーは寝る前にホットチョコレートを作ってくれたりとても優しく、感謝しています。帰りは、来る時の不安は全くなく、一人でもやればできる、ということを学びました。



上昇↑

部活紹介

バレーボール部

部長 木村 千春

バレーボール部は「上位トーナメント進出」を目標に、三年生四人、二年生六人、一年生五人で活動しています。これまでは一勝するのにも難しかったこともありましたが、



日々練習を重ね、上位のチームとフルセットで戦ったり、勝つことができるなど、技術面や体力面ではせり合えるようになってきました。先日行われた冬季リーグ

柔道部

部長 伊藤 俊介

柔道部は二年生四名、一年生二名で活動してきました。練習では乱取りを中心にみんなの意見を聞き、内容をとときどき変えながらすすめてきました。

今年度の成績は、春季地区大会は団体戦で一勝し、個人戦では木村が90kg級三位入賞を果たすなど県大会

に三名が出場できました。県大会でも団体戦で一勝することができました。秋季地区大会では団体戦では一勝することができませんでしたが、個人では春に続き木村が三位入賞し、県大会へは四名が出場できました。県大会では団体戦で一勝することができました。

来年度の目標は地区大会で団体戦入賞、個人では全員が県大会へ出場することです。現在は寒い中ではありますが、目標達成できる



よう筋力トレーニング中心に練習に励んでいます。今後も努力していきますので、応援よろしくお願いします。

では、チーム全員が「絶対勝つ」という強い姿勢で臨み、三チームに勝ち、順位決定トーナメントでは一位、全十一チーム中七位という、近年では最高の結果を残し、春の大会で米沢中央高校、米沢東高校と対戦することになりました。これから数ヶ月、自分たちのプレーに自信を持てるよう精神面も強化し、試合では小国高校らしさが発揮できるように、内容の濃い練習をしていきたいと思えます。

恩師回想

小国高校旋風

遠藤 啓司先生

昭和五十九年〜平成六年
平成十三年〜十四年



小国高校には、地元出身の特別な思い入れのなかで二回お世話になりました。

一回目は昭和五十九年から十一年間在職し、若さに任せて正に生徒と体当たりの格闘劇の毎日でした。生徒諸君と共にとことん切磋琢磨できた充実の日々でした。特に部活動に本気で取り組み、むことを指導し「生徒が変われば学校が変わる」を合言葉に部活動を通じて全校上げて熱く燃えて、生徒改革と学校改革に取り組みました。多くの部が四季折々に、興学会館に合宿し、寝食を共にして、自己改革へ鍛え



高め合いました。年々、生徒たちは自信に満ちて逞しく成長し、高体連の学校對抗では、多くの部が上位に進出しました。田舎の小規模校であつても大規模校に総合力で決して負けない実績を積み上げました。小国高校は「小さくともキラリと光る」学校に相応しい校風を築きました。私の担当したスキー部・陸上部の生徒たちは常に東北大会・インターハイに出場しました。集大成として、県選抜選手は「べにばな国体」山岳競技少年の部で見事に優勝の快挙を達成し、全国に名を轟かせました。卒業して、教え子の多くが全国各地で有為な人材として活躍していることを、大変頼もしく嬉しく思っております。

二回目の就任は平成十三年、文科省研究指定中高一貫教育の推進と共に少子化のなかで、教頭として生徒募集に町内を奔走する短くも充実した二年間でした。一貫

教育の研究発表では、全県から来客を迎え、生徒たちは、大きな期待を一身に受けて澁刺と輝きました。小国の特色と町民の思いが一つに結集し、現在の礎を築いたと思っております。

現在、私は県教育行政に勤務するなかで、時折、小国高校での良き思い出が懐かしく甦ります。将来へ向けて、同窓会の皆様方のご支援を頂き、小国高校に多くの地元中学生が集い、伝統を継承するなど、小国高校の未来への輝かしい躍進を大いに期待しております。

キラキラ思い出 ボックス

田近 裕子先生

平成七年〜十二年



小国といえば、熊汁、今善一先生の山菜料理とうさぎ汁、町内のおいしい魚屋とラーメン屋、鶏の唐揚げ

の旨い居酒屋、ブルーチップにOカード：食いしん坊の私のこと、ついつい食べることが中心ですが、小国高校勤務の六年間は、すなわち小国町民としての暮らしそのものでした。

「シャツ、いっちょよげよ」という米沢弁が生徒に通じなかったこと、斎藤貞夫校長先生とのキャッチボール、サラシを巻いた女子の応援体育祭、学校林下草刈りで生徒がマムシを捕ったこと、そのマムシが四千円で売れたこと、一泊二日の家庭訪問、創立50周年記念25kmウォーク、天下一品と名高い除雪、恒例カド焼きパーティー、独身寮での夕食と、春子おばさん特製チーズおかおにぎり、舟山先生に潜りに連れていかれてもらったのも大変楽しい思い出の一つです。転勤が決まってからの五日間連続の送別会は、本当にいろいろな方にお世話になった証でした。

特に、思い出深い一つに沖縄修学旅行があります。当時の学年主任が行ったことがなかった北海道と沖縄の二者択一で決まった行き

先(?)でしたが、リゾート沖縄という華やかさの根底には、沖縄戦の痛ましい傷跡や、現在も米軍基地と隣り合わせの県民の生活があることを知る、大変に有意義なものでした。二度目の修学旅行では主担当となり、最終日には生徒と共に念願のドラゴンボートに乗って、沖縄の真つ青な海を満喫しました。「先生、修学旅行なのに、こんなに楽しくっていいの」と言った生徒の笑顔が今でも目に焼き付いています。そして、その日のうちに帰った私達を、小国の初雪が出迎えてくれたというおまけ付きでした。

もう一つは、何と云っても野球部の顧問をさせていただいたことです。全校応援の中、甲子園予選の酒田工業戦は、部員と抱き合つて喜んだ生涯忘れ得ぬ思い出です。夏の戦績三勝五敗、全ての試合に一方ならない思い入れがあります。

「小さくてもキラリと光る小国高校」のことば通り、思い出ボックスを開くと金銀宝珠の出来事がキラキラと敷き詰められています。

おたよりコーナー



人生コツコツと

丹 利 広

(昭和四十二年度卒)



体に出場した先輩が輝いていました。私は残念ながら一歩およばず、苦渋の涙？でした。

昭和四十三年三月に卒業。光陰矢の如く時は流れ、四十年を経過し還暦を迎えようとしている昨今です。在学中は、器械体操に没頭する日々でした。正月の三日間、テスト直前のクラブ活動禁止期間を除く毎日を、鉄棒・平行棒・つり輪等を相手に、コツコツと体を鍛え技を磨く、地道な反復の繰り返しでした。そのコツコツと反復する行動が、仕事にも役立ったものと思います。この場をお借りいたしまして、顧問の先生・先輩に感謝申し上げます。(当時の体操部は、国

就職後も良き先輩方と出会い、仕事優先の生活に充実感を覚え、仕事人間の様相を高め、県内・県外を含め九店舗を渡り歩き、寄り道すること無く、ひたすら前進でした。ただ、私と共に転居を余儀なくされた、妻・子供達に大きな負担をかけたことを痛感しています。更に、子供の参観日には一度も出席できず等々、親父としては失格、家庭では「ぬれ落葉」状態です。昨年十月に、関連会社への出向、また今年一月に、孫を授かり、家庭に償いすべき環境が整いつつありますので、現状改善に努めるよう精一杯がんばります。



思い出
須貝(舟山)朝子
(昭和六十三年度卒)

老いた母が一人で暮しております。毎週末に山形と小国を往復して状況確認、心の通いを大切にすることです。団塊の世代、一斉退職に直面し、まだまだ課すべき役目が多くあります。自分自身をいたわりつつ、今の自分より少し背伸びできる目標を持ち、エネルギーを出し惜しみせず、あせらず「コツコツ」と人生を楽しみながら、職場・家庭にそして小国との共存を中心に、人との和を広げ、純粋で誠実な人生を求め、歩み続けたいものです。今、同窓会名簿で、三年四組の名前をなつかしく見えています。いつかお会いして、語り合いたいですね。心はいつも青春、お互い人生の樂園を目指し頑張ろう。

校舎南側の空きスペースに工事用車両が出入りし、あつと言う間に視界を遮ってしまった建物。理科棟・家庭科棟が完成したのは私が二年生の時(多分)。授業中、息抜きにグラウンドや通り過ぎる人、車を眺めるのが好きだったのに。隣の古い部室とは全く吊り合わないし。そう言えば、工事現場に出入りしているダンブの運転手に手を振って遊んでいたら、その日に限って親父だったのを覚えている。次は、西側にあるテニスコートと旧校舎の一部を潰して体育館。何て事を！校舎の一番最西端にある旧校舎から飛び出て美砂商店に行けないじゃない！そう言えば、体育の授業でバレーの支柱をゴーンと思いきりフロアに落としたり、体育教官室から鬼教師が飛んで来て、「この凹みは○○。こっちは○○。」と嫌味を言われたのを覚えている。

古い体育館が取り壊されそこにテニスコートができ奥の方にひっそり残っている武道館。今、そんな話を年下の子にすると「あそこは部室。武道館は体育館の下。」と笑われた。そうだったわけ。高校最後の年に完成した体育館での文化祭、卒業式(新しい体育館での最初の卒業生というのが自慢だったりする)。そして十九年。毎日母校の前は通るけれど用事がなければ立ち入る事のない所だと思っていたが、会社で資格を取る為に卒業証明書が必要との事で久しぶりの母校に入る事ができた。懐かしい校舎。知らない先生。見るからに私より若そう。その中で十九年前からいる相変わらずの用務員のおじさん。「朝子さん、元気にしたか？」名前を呼んで声を掛けてくれる。うれしい。在学中はそんなことも考えずに過ごしていたが、卒業してある程度年月が過ぎ、しみじみ思う。温かい人達に囲まれて過ごした高校生活。そして母校の存続。本当にありがとうございます。これから頑張ってください。

人生は歌のように

齋藤 権市

(昭和五十四年度卒)



年の瀬も迫ってから、部落の忘年会がありました。例年なら一泊していたのですが、日程の都合で地元で開催することになりました。その上、参加者は男ばかりで、ひよっとしたら盛り上がりがないのではないかと、幹事の私は心配しました。

ところが、酒が入るにつれ、昔話が飛びだしたり、カラオケで一人一人歌うことになったりと大変な盛り上がり様でした。終わりに、全員がステージに上がり、肩を組みながらの大合唱でした。

先輩と二人で歌った「愛燦燦」後輩が歌った「千の風になつて」など、私にとって忘れられない思い出になりました。

した。皆に喜んでもらって嬉しかったのと同時に、いつの間にか私が盛り上げてもらっている事に気づき、感謝の気持ちで一杯でした。そんな折、紅白歌合戦を見てみると、偶然にも「愛燦燦」が流れてきました。思わず自分の人生を重ねて聞き入りました。

若い頃は都会に憧れ、小国を離れたいと考えていたのに、今では町を活性化できないものかと考え始めたり、全く興味のなかった俳句を始め、運良く俳句集まで出版できたり、その俳句集を通し、思いがけなく同級生が祝ってくれたり。また、山新に投句を始め、一度も会ったことのない俳句の先生から励ましのお手紙を頂いたり、人生って本当に不思議なものです。

だからこそ、人生が嬉しいのかもしれない。半生を振り返り、しみじみそう思います。

この歌に出合った事で、私の人生観も少し変わりました。もっと人生を楽しみ

なさいと教えてもらった気がします。

これからは、肩の力を抜いて、好きな事に夢を託したいと思っています。たとえ挫けそうな時でも、大好きな「愛燦燦」を歌いながら。

いつもそこに

あるもの



江口(都築)由佳

(平成四年度卒)



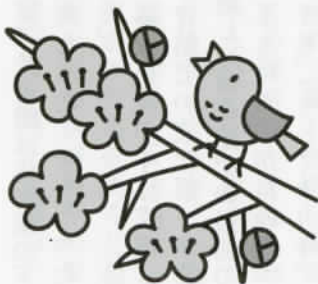
小国高等学校卒業生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。卒業して早いもので十六年を迎えようとしている私は、茨城県で平凡な主

婦をしています。茨城に住みはじめた頃は、霞ヶ浦の水質汚染の影響か水道水の臭いが気になって仕方ありませんでした。小国に住んでいる時は当たり前でしたが、生活に必要な水に恵まれている事は本当に幸せなことだと思います。恵まれているといえば、以前の会報を拝見しましたところ、修学旅行先がアメリカだと知り大変驚きました。私の時代は、広島、奈良、京都。原爆の威力を目の当たりにして心が痛んだ事、また古都奈良に建つ寺院や歴史に興味湧き卒業旅行で再度訪れた事等を思い出しました。修学旅行でアメリカに行く機会があった方々も、きっといい刺激になり日本とアメリカの関係にも日々興味を持たれていることでしょう。

私は今年三十四歳になりますが、図々しくもつい先日まで高校生だったような気分です。しかし、私が一途に夢を追いかけている間に連絡が絶えた方もいます。そんななかでもい

まだに繋がっている友人達は、とても大切に貴重な存在だと確信しています。美術を教えて頂いた安部昭二先生から届く年賀状は飯豊山の版画で、毎年とても楽しみにしています。ふる里からの何より心温まる贈り物です。私の住む所から見える山といえは筑波山だけで、時折四方を山に囲まれた小国を懐かしいというよりは恋しくなる事もあります。そんな時は車で六時間。家族を巻き込んで向かってしまします。ふる里っていいものですね。

最後に、父も小国高等学校の卒業生で今年還暦を迎えます。親子でお世話になりました歴史ある学校を守って下さっている皆様方にも大変感謝しております。



事務局からお願いと報告

住所の確認・氏名の変更についてのご案内

母校小国高等学校は、平成二十年度創立六十周年を迎えます。同窓会としてもしっかりと組織力を持つために、会員の住所の把握に努めてまいりたいと考えます。

同窓会事務局として知り得た情報につきまして、個人情報として守秘し会員名簿の発行はせず事務局管理とし、会報の発送等の情報発信に勤めてまいりたいと思います。会員の皆様、ご自分の学年の評議員の方から紹介があった場合や同窓生の連絡先の変更についての情報を得たときは、直接学校に連絡いただいても結構ですので、ご協力いただきますようお願いいたします。

六十周年記念事業に

有森裕子さんが来校

小国高校は、高校として六十歳となり還暦をむかえることとなりました。六十

周年記念事業は、皆さんの年会費と積立金による事業とします。できるだけ多くの方々に年会費の納入にご協力をお願いします。

今回の記念事業については、バルセロナオリンピックマラソン銀メダリスト有森裕子さんをお迎えし記念講演を行います。せっかくの機会ですので、同窓生の皆さんにも在校生と共に聴講していただきたいと考えています。



アメリカ短期留学
順調に三年目を迎える

同窓会で資金援助を続けてきた短期留学も順調に推移し、英会話の力も上達し英語を話せる生徒の数も増えていきます。これからも同窓会として、資金援助を続けてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(文責 駒澤)

平成18年度 同窓会会計決算書

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額	増減	摘要
会費	1,000,000	0	1,000,000	694,680	△305,320	振込納入金 手数料引金額 @5,000 ×47名
入会金	235,000	0	235,000	235,000	0	前年度繰越金
繰越金	25,148	0	25,148	25,148	0	
繰入金	100,000	0	100,000	0	△100,000	
雑収入	852	0	852	72	△780	預金利子
合計	1,361,000	0	1,361,000	954,900	△406,100	

支出の部

(単位:円)

科目	当初予算額	補正額	予算現額	支出済額	増減	摘要
需要費	30,000	0	30,000	9,200	△20,800	役員弁当代、 会報発送手配 生徒弁当代
会議費	200,000	0	200,000	103,732	△96,268	各種役員会 諸経費等
通信費	200,000	0	200,000	153,260	△46,740	はがき・切手
印刷費	70,000	0	70,000	33,100	△36,900	お知らせ印刷等
使用料賃借料	5,000	0	5,000	0	△5,000	
事務室維持費	5,000	0	5,000	0	△5,000	同窓会事務室 維持諸経費
慶弔費	10,000	0	10,000	2,225	△7,775	弔電等
教育助成費	300,000	0	300,000	288,403	△11,597	アメリカ短期留学 卒業記念品・講演謝礼等
支部助成費	100,000	0	100,000	70,000	△30,000	町内地区 11支部
特別事業基金	50,000	0	50,000	0	△50,000	
事務費	30,000	0	30,000	22,524	△7,476	事務局 (用紙・CD等)
事業費	350,000	0	350,000	232,130	△117,870	会報発行等
予備費	11,000	0	11,000	0	△11,000	
合計	1,361,000	0	1,361,000	914,574	△446,426	

平成19年度 同窓会会計予算書

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会費	1,000,000	1,000,000	0	年会費 @1,000×1,000名
入会金	160,000	235,000	△75,000	卒業生入会金 @5,000×32名
繰越金	40,326	25,148	15,178	前年度繰越金
繰入金	100,000	100,000	0	特別事業基金より 繰入
雑収入	674	852	△178	預金利子等
合計	1,301,000	1,361,000	△60,000	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
需要費	20,000	30,000	△10,000	用紙等
会議費	180,000	200,000	△20,000	各種役員会経費
通信費	200,000	200,000	0	はがき・切手
印刷費	70,000	70,000	0	お知らせ印刷等
使用料賃借料	5,000	5,000	0	
事務室維持費	5,000	5,000	0	
慶弔費	10,000	10,000	0	
教育助成費	300,000	300,000	0	アメリカ短期留学 卒業記念品・講演謝礼
支部助成費	100,000	100,000	0	町内支部助成
特別事業基金	50,000	50,000	0	
事務費	30,000	30,000	0	
事業費	320,000	350,000	△30,000	会報発行等
予備費	11,000	11,000	0	
合計	1,301,000	1,361,000	△60,000	

平成十九年度 会費納入者

平成十九年度の小学高等学校同窓会の会費を納入していただいた会員の方々です。会費は一口千円ですが、二口以上の納入もお受けしております。その方々のお名前を初めの方に記載いたしました。

会費は同窓会の目的を達成するための事業に充てられます。これからも趣旨にご賛同いただき、多くの会員から会費納入にご協力をお願いいたします。

大口納入者 (内は卒業年度)	
金田 輝義 (36)	三十一口 三万円
近藤 昭正 (37)	三十一口 三万円
坪川 民主 (38)	三十一口 三万円
長沼 節雄 (39)	三十一口 三万円
栗田 寛美 (40)	三十一口 三万円
伊藤 忠昭 (41)	三十一口 三万円
山下 富子 (42)	三十一口 三万円
三浦 重三 (43)	三十一口 三万円
船山 重吉 (44)	三十一口 三万円
仁科 光悦 (45)	三十一口 三万円
高橋 浩子 (46)	三十一口 三万円
黒田 金雄 (47)	三十一口 三万円
渡部 和夫 (48)	三十一口 三万円
後藤 哲夫 (49)	三十一口 三万円
田中 永大 (50)	三十一口 三万円
中村 永大 (51)	三十一口 三万円
八口 静雄 (52)	三十一口 三万円
佐藤 競 (53)	三十一口 三万円
渡辺 競 (54)	三十一口 三万円
五口 安昭 (55)	三十一口 三万円
小林 安昭 (56)	三十一口 三万円
佐川 安昭 (57)	三十一口 三万円

小松 正男 (37)	佐藤 明子 (38)	木村 明子 (39)	神保 明子 (40)	丹保 明子 (41)	見川 明子 (42)	長岡 明子 (43)	加藤 明子 (44)	昭25年度卒業 (第二回)	木村 敏行 (45)	須貝 敏行 (46)	井上 敏行 (47)	宮田 敏行 (48)	伊藤 敏行 (49)	渡部 敏行 (50)	横山 敏行 (51)	昭26年度卒業 (第三回)	安部 敏行 (52)	塚野 敏行 (53)	佐藤 敏行 (54)	渡辺 敏行 (55)	宮崎 敏行 (56)	昭27年度卒業 (第四回)	小野 敏行 (57)	佐藤 敏行 (58)	高橋 敏行 (59)	松井 敏行 (60)	渡辺 敏行 (61)	重藤 敏行 (62)	安部 敏行 (63)	重藤 敏行 (64)	渡辺 敏行 (65)	三井 敏行 (66)	昭28年度卒業 (第五回)	加藤 敏行 (67)	小池 敏行 (68)	小池 敏行 (69)	佐藤 敏行 (70)	遠藤 敏行 (71)
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------

仁科 吉男 (37)	松田 吉男 (38)	昭29年度卒業 (第六回)	伊藤 敏行 (39)	川上 敏行 (40)	今井 敏行 (41)	佐藤 敏行 (42)	佐藤 敏行 (43)	清野 敏行 (44)	毛利 敏行 (45)	河内 敏行 (46)	原尾 敏行 (47)	昭30年度卒業 (第七回)	高井 敏行 (48)	遠藤 敏行 (49)	佐藤 敏行 (50)	伊藤 敏行 (51)	松原 敏行 (52)	舟山 敏行 (53)	塚野 敏行 (54)	木村 敏行 (55)	齋藤 敏行 (56)	佐藤 敏行 (57)	柴田 敏行 (58)	宇津 敏行 (59)	櫻井 敏行 (60)	吉田 敏行 (61)	今井 敏行 (62)	斎藤 敏行 (63)	昭31年度卒業 (第八回)	伊藤 敏行 (64)	今井 敏行 (65)	小池 敏行 (66)	安部 敏行 (67)	松田 敏行 (68)	川上 敏行 (69)	須貝 敏行 (70)	鹿島 敏行 (71)	船山 敏行 (72)
------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

渡辺 敏行 (37)	後藤 敏行 (38)	丹保 敏行 (39)	秘多 敏行 (40)	森田 敏行 (41)	佐藤 敏行 (42)	伊藤 敏行 (43)	昭32年度卒業 (第九回)	伊藤 敏行 (44)	富田 敏行 (45)	後藤 敏行 (46)	塩川 敏行 (47)	須貝 敏行 (48)	曾根 敏行 (49)	高井 敏行 (50)	野村 敏行 (51)	保科 敏行 (52)	矢野 敏行 (53)	安達 敏行 (54)	山田 敏行 (55)	加藤 敏行 (56)	木村 敏行 (57)	今井 敏行 (58)	佐藤 敏行 (59)	伊藤 敏行 (60)	丹保 敏行 (61)	島根 敏行 (62)	佐藤 敏行 (63)	佐藤 敏行 (64)	伊藤 敏行 (65)	飯田 敏行 (66)	金田 敏行 (67)	昭33年度卒業 (第十回)	遠藤 敏行 (68)	大久保 敏行 (69)	木村 敏行 (70)	後藤 敏行 (71)	齋藤 敏行 (72)	伊藤 敏行 (73)	川上 敏行 (74)	松田 敏行 (75)	高井 敏行 (76)	近藤 敏行 (77)	塩川 敏行 (78)	鹿島 敏行 (79)	船山 敏行 (80)
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	---------------	------------	-------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

渡辺 敏行 (37)	草場 敏行 (38)	増田 敏行 (39)	昭34年度卒業 (第十一回)	加藤 敏行 (40)	斎藤 敏行 (41)	高井 敏行 (42)	野村 敏行 (43)	矢野 敏行 (44)	渡辺 敏行 (45)	森田 敏行 (46)	高井 敏行 (47)	大村 敏行 (48)	村上 敏行 (49)	嶋田 敏行 (50)	小池 敏行 (51)	小池 敏行 (52)	小池 敏行 (53)	小池 敏行 (54)	小池 敏行 (55)	小池 敏行 (56)	小池 敏行 (57)	小池 敏行 (58)	小池 敏行 (59)	小池 敏行 (60)	小池 敏行 (61)	小池 敏行 (62)	小池 敏行 (63)	小池 敏行 (64)	小池 敏行 (65)	小池 敏行 (66)	小池 敏行 (67)	小池 敏行 (68)	小池 敏行 (69)	小池 敏行 (70)	小池 敏行 (71)	小池 敏行 (72)	小池 敏行 (73)	小池 敏行 (74)	小池 敏行 (75)	小池 敏行 (76)	小池 敏行 (77)	小池 敏行 (78)	小池 敏行 (79)	小池 敏行 (80)
------------	------------	------------	----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

小池 敏行 (37)	小池 敏行 (38)	小池 敏行 (39)	小池 敏行 (40)	小池 敏行 (41)	小池 敏行 (42)	小池 敏行 (43)	小池 敏行 (44)	小池 敏行 (45)	小池 敏行 (46)	小池 敏行 (47)	小池 敏行 (48)	小池 敏行 (49)	小池 敏行 (50)	小池 敏行 (51)	小池 敏行 (52)	小池 敏行 (53)	小池 敏行 (54)	小池 敏行 (55)	小池 敏行 (56)	小池 敏行 (57)	小池 敏行 (58)	小池 敏行 (59)	小池 敏行 (60)	小池 敏行 (61)	小池 敏行 (62)	小池 敏行 (63)	小池 敏行 (64)	小池 敏行 (65)	小池 敏行 (66)	小池 敏行 (67)	小池 敏行 (68)	小池 敏行 (69)	小池 敏行 (70)	小池 敏行 (71)	小池 敏行 (72)	小池 敏行 (73)	小池 敏行 (74)	小池 敏行 (75)	小池 敏行 (76)	小池 敏行 (77)	小池 敏行 (78)	小池 敏行 (79)	小池 敏行 (80)
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

原川 昇治 (37)	柳橋 昇治 (38)	昭38年度卒業 (第十五回)	益田 敏行 (39)	入田 敏行 (40)	野村 敏行 (41)	藤田 敏行 (42)	小池 敏行 (43)	斎藤 敏行 (44)	森田 敏行 (45)	西沢 敏行 (46)	昭36年度卒業 (第十三回)	伊藤 敏行 (47)	伊藤 敏行 (48)	金田 敏行 (49)	小池 敏行 (50)	小池 敏行 (51)	小池 敏行 (52)	小池 敏行 (53)	小池 敏行 (54)	小池 敏行 (55)	小池 敏行 (56)	小池 敏行 (57)	小池 敏行 (58)	小池 敏行 (59)	小池 敏行 (60)	小池 敏行 (61)	小池 敏行 (62)	小池 敏行 (63)	小池 敏行 (64)	小池 敏行 (65)	小池 敏行 (66)	小池 敏行 (67)	小池 敏行 (68)	小池 敏行 (69)	小池 敏行 (70)	小池 敏行 (71)	小池 敏行 (72)	小池 敏行 (73)	小池 敏行 (74)	小池 敏行 (75)	小池 敏行 (76)	小池 敏行 (77)	小池 敏行 (78)	小池 敏行 (79)	小池 敏行 (80)
------------	------------	----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

伊藤 敏行 (37)	井上 敏行 (38)	梅津 敏行 (39)	金田 敏行 (40)	舟山 敏行 (41)	昭41年度卒業 (第十八回)	渡部 敏行 (42)	渡部 敏行 (43)	渡部 敏行 (44)	渡部 敏行 (45)	渡部 敏行 (46)	渡部 敏行 (47)	渡部 敏行 (48)	渡部 敏行 (49)	渡部 敏行 (50)	渡部 敏行 (51)	渡部 敏行 (52)	渡部 敏行 (53)	渡部 敏行 (54)	渡部 敏行 (55)	渡部 敏行 (56)	渡部 敏行 (57)	渡部 敏行 (58)	渡部 敏行 (59)	渡部 敏行 (60)	渡部 敏行 (61)	渡部 敏行 (62)	渡部 敏行 (63)	渡部 敏行 (64)	渡部 敏行 (65)	渡部 敏行 (66)	渡部 敏行 (67)	渡部 敏行 (68)	渡部 敏行 (69)	渡部 敏行 (70)	渡部 敏行 (71)	渡部 敏行 (72)	渡部 敏行 (73)	渡部 敏行 (74)	渡部 敏行 (75)	渡部 敏行 (76)	渡部 敏行 (77)	渡部 敏行 (78)	渡部 敏行 (79)	渡部 敏行 (80)
------------	------------	------------	------------	------------	----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

●事務局だより

○平成二十年度は学校創立六十周年にあたるため、これまで春に開催してきた同窓会総会を秋に開催しオリンピックマラソン選手の有森裕子氏をお招きし記念講演を開催いたします。

—11—

団結力のある 学校を目指し

生徒会長 鈴木 大介



私は昨年度から生徒会副会長という役職につき、今年度は生徒会長を任せていただきました。今年度はさらにステップアップした小国高校を作ることが私の目標です。

私が生徒会長に立候補した際、立会演説会で述べた公約は主に三つです。まずひとつは服装です。この先社会に出て行く高校生にとって、外見は多くの人が見るポイントです。大切なのは中身ですが、やはり第一印象というものも大事だと思います。町内でもだらしのない格好で歩いている高校生が目立つたとき聞きました。今年度はまず、「見た目」から変えていこうと思います。外見が変われば中身も変わるといいます。昨年度取り組みことができなかった服装について、今年度は生徒会全体で良くなって



いきたいと思っています。

次に、高校生のボランティア精神の向上です。小国高校ではボランティアサークルにおける活動を単位として認定するなど、充実した「ボランティア」を行える環境「がそろっています。こんなにもよい環境にも関わらず、昨年度は決まった人しかボランティアに來ない等の多くの問題がありました。来年度は、日常生活を通して、小国高生の「積極性」を高めたいと思います。

最後は学校行事における向上です。今年度の文化祭もすばらしいものでしたが、来年度私がやりたいことは「クラス一丸となって目指すもの」

を作ることです。集団の力というものは大きくも小さくもなるといいます。小国高校は少人数の学校ですが、少人数がゆえに、集団の力、つまり団結力は大きいと思います。いままでの多くの学校行事では、「個人」を引き立たせることを行ってきましたが、来年度は「団結力」を引き出させる、引き立たせる方針をとっていききたいと思っています。

第一印象、人間性、そして強い団結力を持った小国高校。そんな学校になるように、その時その時の仕事に全力を尽くすつもりです。どうかよろしく願います。

19年度ワープロ実務検定 情報処理検定合格者

念願の情報処理検定2級に、予想を上回る5名(3年生1名、2年生4名)の合格者をだすことができた。今までの失敗を補うため、ワープロ実務検定1・2級合格者を挑戦させ、実技試験を完璧にこなしたのが合格につながったと思う。2年生の来年度に期待したい。

19年度進路状況 小国高等学校進路指導課

3年生生徒数 32名(男子16名・女子16名)
進学合格者 9名(男子2名・女子7名)
就職内定者 23名(男子14名・女子9名)

	進 学			就 職		
	四年制大学	短期大学	専門学校	地 元	地元外県内	県 外
男子	1	0	1	14	0	0
女子	1	3	3	6	1	2
合計	2	3	4	20	1	2

進 学

四年制大学…2
新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科…1
流通経済大学経済学部経営学科…1
短期大学…3
郡山女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻…1
新潟青陵大学短期大学部人間総合学科…1
山形短期大学こども学科…1

専門学校…4

WIZ国際情報工科専門学校自動車工学科…1
国際福祉医療カレッジ介護福祉学科…1
山形V.カレッジ総合ビジネス科…1
ワタナベエンターテイメントカレッジ…1

就 職

地元(小国町内)…20
荒川興業…1 井上製作所…4 コバレントマシナリ…1
コバレントマテリアル…12 日本重化学工業…1 花のひらの…1
地元外県内…1
きらら(米沢市・介護)…1
県外…2
キタカタ(新潟市・飲食店)…1 汐美荘(村上市瀬波・ホテル)…1

情報処理検定2級合格者



3年2組
今 大地



2年2組
船山 理恵子



2年2組
鈴木 大介



2年2組
貝沼 友



2年2組
飯澤 智宏

ワープロ実務検定1級合格者



3年2組
伊藤 緩生



3年2組
山口 歩惟



2年2組
船山 理恵子



1年1組
佐野 友莉那

〈編集委員〉栗田金男・神保たえ子・駒澤堅一・原田千鶴子